

火花を出さずに鉄を切断

ワイ・エム・ケー NEWS

VOL. 1

ワイヤーソー
特集

X線検査
鉄筋探査
コアボーリング
ウォールソーイング
ワイヤーソーイング
道路カッター
アンカー工
地中探査

いろいろコツコツ
やっています。
わたしたちは

ワイ・エム・ケー



静岡県内
某工場

ワイヤーソーによる 鉄板切断工事

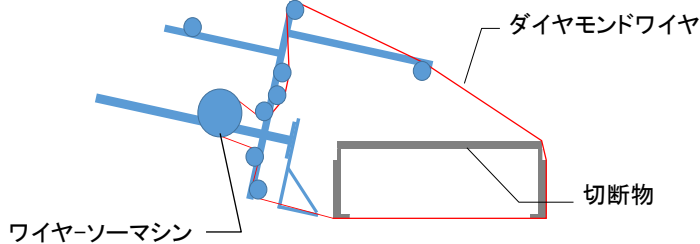
ワイ・エム・ケーは静岡県内某工場内にてワイヤーソーによる鉄板の切断工事を行った。通常鉄板の切断にはランチャー等による溶断が一般的だが、工場建屋内の為、火気厳禁の制約があり切断方法を検討。ワイヤーソーによる切断を行うことに至った。



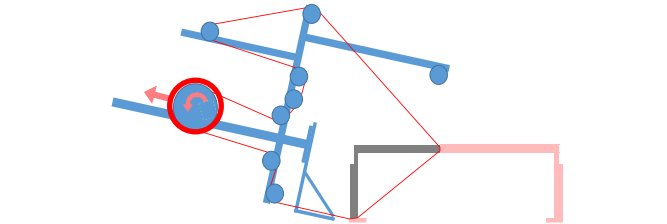
ワイヤーソーマシン セッティング状況

ワイヤーソーイング状況図

①ワイヤーソーマシンセッティング



②ワイヤーソー施工状況



メインプリー(○印)を回転させながら引張ることにより切断物を切断していく。

切断物である鉄板は厚さ四十ミリ、総長千八百ミリのコノ字型の鉄板0.07平米。この切断物にダイヤモンドワイヤーを巻付けし高速回転することにより切断している。通常ワイヤーソーはコンクリート躯体を切断する場合に使用するが、今回はすべて鉄の躯体となる為、使用するダイヤモンドワイヤーも鉄切断仕様の特殊ワイヤー。

ヤーを使用。田中課長の長年の経験により回転数・給水量を調整しながら切断を実施。通常ワイヤーでは二時間程かかるところをおおよそ四十分で切断することに成功。煙突等、鉄構造物リニューアル工事における新たな切断方法を彷彿させる結果となった。



ダイヤモンドワイヤー



切断ライン(切断後)